

令和5年度大網白里市まち・ひと・しごと創生有識者会議 議事要旨

【開催日時】

令和6年1月25日（木） 午前10時00分～午前11時20分

【場所】

中央公民館 1階講義室

【構成員名簿】

所属・役職	氏名	備考
大網白里市商工会 会長	久我 一雄	
山武地域振興事務所 所長	田中 正直	
城西国際大学 教授	渡邊 修朗	
株式会社千葉銀行大網支店 支店長	藤本 敏春	
連合千葉外房地域協議会 議長	織本 幸市	欠席
株式会社千葉日報社東金支局 支局長	森 大輔	
企画政策課 課長	飯高 謙一	事務局
企画政策課 副課長	久保 崇	事務局
企画政策課 主査	齋藤 友康	事務局
企画政策課 主任主事	田邊 正洋	事務局

【議事次第】

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 出席者紹介
- 4 議題
 - (1) 第2期大網白里市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組状況について
 - (2) 企業版ふるさと納税の活用状況について
 - (3) 第3期総合戦略（令和7年度～令和11年度）について
- 5 その他
- 6 閉会

【資料】

- 資料1 令和5年度大網白里市まち・ひと・しごと創生有識者会議資料
資料2 第2期大網白里市まち・ひと・しごと創生総合戦略
資料3 大網白里市人口ビジョン（令和2年改訂版）

【議事の経過】

1. 開 会

(略)

2. あいさつ

(略)

3. 出席者紹介

(略)

4. 議題 (1) 第2期大網白里市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組状況について

- 事務局 (本会議の内容について、議事要旨を作成し、公開することを説明。)
(資料1により人口ビジョン及び総合戦略の概要、総合戦略の各基本目標における数値目標及び重要業績評価指標の現状値を説明。)
- 有識者 人口の面で、外国人の方が増加しているということだが、どこの国籍が多いか把握しているか。
- 事務局 手元に資料を持ち合わせていないため、会議終了後、確認のうえお示しさせていただきたい。
(会議終了後、令和5年12月末時点で①中国 148名、②ベトナム 119名、③タイ 109名、④フィリピン 105名、⑤インドネシア 79名 ⑥その他 300名であることを確認。)
- 有識者 基本目標2「にぎわいと活力にあふれた新しい人の流れをつくる」には、先日発足した道の駅検討委員会の取り組みは含めないのか。
- 事務局 基本目標2の基本的方向のひとつを「市の魅力発信を強化し、関係人口の創出・拡大、移住・定住の促進を図ります」としており、地域交流拠点の整備等が該当すると考えています。
- 有識者 市街化調整区域を今後どのようにするのか、という問題が全ての施策に関係してくる。市街化調整区域の問題を解決しなければ、どれも目標通りにはならない。
- 事務局 市街化調整区域を廃止することは困難なため、国道・県道沿線に関しては地区計画を定めることで開発が可能となるよう基準を緩和しています。
- 有識者 国道沿線のコメリパワーのような新たな「働く場所」が必要。そういった具体的な記載があるべきではないか。
- 事務局 今回ご説明したのは第2期総合戦略における取組内容であり、今後、第3期に向けて新しい総合戦略に改訂する予定です。
現在足りていない点については、第3期策定時に参考とさせていただきます。

- 有識者 他市町村に比べると大網白里市の人口減少は緩やかだが、今のうちに何か早く手を打たなければ、手遅れになってしまう。
道の駅の話をしたが、人流が活性化されれば、交流人口・関係人口が増加し、その中から移住者も出てくるのではないか。
- 有識者 基本目標1の施策に対するKPIに「国道128号線沿道での新規商業施設立地数」を設定しているが、目標未達となる原因は何か。
- 事務局 現在、地区計画を立て、商業施設の立地に向けて動いておりますが、第2期総合戦略の期間内である令和6年度末までには建設に至らないためです。
- 有識者 建設に至らなかったのは相手方から相談されたのが遅かったのか、それとも市で検討する時間が長かったのか。仮に、検討時間が長いということであれば、改善が必要。
- 事務局 相手方の申請時期の問題のほか、色々な法的手続きを踏む段階で時間を要した案件もあり、市としても改善すべき点があると感じています。
- 有識者 民間企業のスピード感は、公共の方が考えているよりも非常に早い。そこは他自治体との競争だと認識して取り組まなければいけない。
また、従業員人口が増えたという点で、市と商工会が共同で実施している大網創業塾の参加者が年々増えている点も評価できると思う。
- 有識者 現在の大網白里市は財政が非常に硬直化しており、人口減少によってますます税財政が縮小するため、今後は限られた資源の中でいかに有効な政策を実施していくかが重要となる。
総合戦略の基本目標である「若い世代が住みたくなる出産・子育て・教育環境を実現する」について、特に出産関係の医療など、その辺りはどのようになっているか。
- 事務局 市内に産婦人科はありませんが、近隣の東金市や千葉市緑区など通える範囲にはあると思います。
- 有識者 大網白里市は知名度が高くない。東金市にある、緑区にある、ということになると大網白里市に興味を持たず、そちらに行ってしまう。
誘致に力を入れる必要があると思う。
- 有識者 外国人が社会増となっている点について、なぜ大網白里市を住む先として選んだのか。理由は把握しているか。
- 事務局 大網白里市が特別増えているということではなく、全国的にそういった傾向にあると捉えています。
農業系などはベトナムの方を研修生等として多く受け入れていると聞いていますが、具体的になぜ増えてるかは把握しておりません。

- 有識者 今後も外国人人口は増加すると思われるので、外国人の方が増えることを前提とした計画にするのも一つの手ではないか。
- 有識者 大網白里市が外国人をどう考えるかは別の問題として、人口対策や地域経済対策として外国人の方が住みやすい環境をつくるのもひとつの策だと思う。
- 有識者 大網白里市に外国人の受入機関があればまとまった人数を呼び込めるし、農業や水産加工など、労働力不足に悩んでいる事業所も安心して受け入れてくれると思う。
- 有識者 県外PRとは具体的にどういった内容で、どのような効果があったのか。ふるさと納税について、制度改正もあり産地などの基準が厳しくなったが、PRはどのように取り組んでいるか。
- 事務局 県外PRについては、商工会に加盟している水産加工業者やいちご農家等が、都内で産品PRのフェア等に共同出展で参加しています。ふるさと納税については、新たな返礼品開発のために補助金を交付するほか、返礼品のPR方法を変えたり、受け入れサイトを増やしたことによって寄附額は昨年度を上回っている状況です。
- 有識者 大網白里市はどうやって知名度を上げていくか。ホームページの閲覧件数は増えているが、Z世代などの世代がどのように情報を得ているのかが重要。SNSなども活用し、市のことを知ってもらう場を広く持った方が良いのではないか。
- 有識者 新しい世代の人たちを呼び込むためには、市も新しい発想を持つ必要がある。

4. 議題 (2) 企業版ふるさと納税の活用状況について

- 事務局 (資料1により企業版ふるさと納税の概要、本市における寄附実績・寄附活用事業について説明。)
- 有識者 寄附は地域再生計画上の事業とはリンクせず、計画全体に賛同して寄附するという仕組みなのか。
- 事務局 地域再生計画上に寄附を活用する事業を記載しています。本市の場合は、総合戦略に記載している事業に活用する、という形になっています。
- 有識者 令和3年度の実績5件は魅力発信事業という事業に手が挙がったということか。
- 事務局 相手方のご意向を伺ったところ、特段ご希望がなかったので、こちらから活用事業を提案し、ご了承いただいたうえで決定した。

- 有識者 寄附を募ることについて、市から何かアプローチをしているか。
- 事務局 直接飛び込みで来るケースのほか、市長のトップセールスによっていただいたケースもあります。
新たな取り組みとして、企業版ふるさと納税の受入代行業者を通して各企業にアプローチするという施策を開始しました。
- 有識者 大網白里市に寄附した理由は。例えば市出身の経営者だとか。
- 事務局 そういったケースは今のところなく、近隣企業からの寄附のほか、企業のPR活動のひとつとして寄附をいただくケースが多いです。

4. 議題 (3) 第3期総合戦略(令和7年度～令和11年度)について

- 事務局 (資料1により国のデジタル田園都市国家構想総合戦略の概要、本市の第3期総合戦略の策定スケジュール、次回会議から新たに株式会社ちばぎん総合研究所調査部副部長観音寺様にご参加いただく予定であることについて説明。)
- 有識者 中小企業のDX推進で問題となるのが人材の面。
市で講座を開催するなど、DX推進をサポートができるような取組があると、中小企業の方は喜ぶのかなと思う。
- 有識者 デジタル化について、大網白里市は遅れていると思う。
国からの要請、補助金の有無ではなく、なぜ大網白里市でデジタル化を進めなければいけないのか説明する必要がある。
デジタル化が遅れていると認識しているか。そうであれば、その要因は何か。
- 事務局 一番の問題はコスト面です。現在の財政状況で新たに投資することが困難でしたが、このままの状態が良いという訳ではありません。
遅れている点は段階的に着実に進めていき、市民の皆様に利便性を感じていただけるような、行政サービスにしていきたいと考えています。
- 有識者 財政的に余裕がない中、様々な施策を実施していかなければいけない。
「共働」、「共創」というキーワードが非常に重要になる。
市役所のパワーだけでは足りないところに、民間企業や住民の方々の力を借りる仕組みづくりが必要になると思う。

5. その他 (該当なし)

6. 閉会 (略)